

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>1 後期基本計画の中心点を問う(60分)</p> <p>平成28年度から始まる5年を期間とする第5次鶴ヶ島市総合計画「後期基本計画」の作成も終盤に入っています。「人・暮らし・地域」を元気に!との掛け声で前期基本計画の計画期間が終わろうとしています。果たして市民は満足する市政であったでしょうか?公民館をつぶし、公立保育所を閉鎖(現在は、段階的閉鎖中)し、すぐれた図書館を市の管理運営権を売り渡す指定管理者制度の導入を既定方向化し、また、先取りし国保の県単一化をめざし、また教育では学力テストの学校別公開をいち早く表明、そして西中事件を起こすなど到底受け入れられない藤縄市政が進行しています。この間、市民の貧困化はいつそう進んでいます。本来的に地方自治体は、国の暴政から市民を守るスタンスを確立しなければならないのに介護保険をはじめ福祉諸政策は、国のいいなりを続けている藤縄市政でもあります。</p> <p>後期基本計画、これまでの政策の踏襲を基本としながら農大跡地開発、運動公園拡張計画、都市計画道路新設など市民向け施策を犠牲にするような方向が取られようとしています。</p> <p>(1) 前期基本計画については指摘した通りですが教育問題に絞って問います。</p> <p>ア 西中事件後教育の指導方針はどう変わりましたか、今後、公表問題を含めて学力テストへの方針はどうなりますか。</p> <p>イ 教育改革によって首長の教育への関与が強まりますが、市長はどのような方針でのぞみますか。</p> <p>ウ 5月23日の西中の「体育祭」で卒業生、他校生をシャットアウトする事態がありましたが何があったのですか、自殺未遂事件との関係性は。</p> <p>(2) 後期基本計画における重要施策について</p> <p>ア 農業大学校の跡地について</p> <p>熊谷移転の方針から数年経ちます。この3月に移転しましたが今日に至るも県の動きは見えません。どうなってい</p>	<p>市長 教育委員会委員長</p>

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>ますか。大学としての役割を終えたことから跡地返還を求めるべきですが。また、運動広場の活用か県営運動施設の設置を強く求めるべきですが。</p> <p>39ヘクタールにも及ぶ広大な面積はこれまでは農地がメインでありましたがその農地を潰しての開発は、現在の保水力が弱まることは自明です。豪雨の際の下流域(太田ヶ谷、南町、松ヶ丘、鶴ヶ丘、上広谷、五味ヶ谷)の排水キャパシティ(50mm/H)を超えます。最近の地球温暖化により70,80mmも予測されます。県の責任で善処させるべきですが。</p> <p>イ 第二期運動公園拡張計画について 第一期の借入金の残額。拡張計画の資金計画は。農業大学の跡地利用計画によっては、拡張計画はないものとする考えがあるか。</p> <p>ウ 都市計画道路について 都市計画道路川越鶴ヶ島線、日高川越鶴ヶ島線のそれぞれの完成時期及び費用額は。オリンピック道路といわれる由縁は。開発をしないで現道を生かせば充分ではないか。</p> <p>(3) 安倍政権は、ローカル・アベノミクス(地方創生)を政策の柱にしようとしています。そのため「まち・ひと・しごと創生本部」は、2015年までに「地方版総合戦略」を打ち出すように求めています。</p> <p>ア こうした方針に鶴ヶ島市は、どのようにのぞんでいくのか。</p> <p>イ その中心点は立地適正化計画と公共施設等総合管理計画ですが、その見解を問います。</p> <p>ウ 鶴ヶ島市後期基本計画にどのように反映させるつもりか。</p>	